

# まちの出来事



## ルークさんからステイブンさんへ

### 市の英語指導助手が交代

教育委員会の英語指導助手（AET）を平成16年から務めてきたルーク・デルバさん（26）は、このほど3年間の任期を終え退任。代わってステイブン・マコーネルさん（24）が着任しました。2学期から市内中学校での英語の授業や、小学校での総合的な学習の時間などで、生きた英語を子どもたちに届けます。



ユータ工学を学び、卒業後平成16年7月から紋別市のAETを務めてきました。退任にあたり宮川良一市長を訪ね「紋別の中学生に英語を教えるのは、とても楽しく素晴らしい体験になりました。また日本に戻ってきたいです」などと挨拶しました。

新任のステイブンさんはカナダのニューブランズウィック州ウッドストック市出身。ダルハウジー大学音楽科でピアノを学びました。日本語の勉強などのためにAETにな

## 青山学院初等部の美術クラブが合宿

### 自然に囲まれ表情イキイキ

東京の名門私立小学校、青山学院初等部の美術クラブ夏期合宿が、今年も紋別市で行われました。7月24日から28日まで4泊5日の日程で、子どもたちは藻別小学校に宿泊するなど紋別の大自然にどっぷりと浸かりながら、絵画制

ることを希望したそうで、市教委との契約期間は平成20年7月29日まで1年間となっております。



## 最終日は最高の天気にもんべつ観光港まつり

紋別の夏の最大イベント、第53回もんべつ観光港まつりが7月27日から29日まで、旧駅前通りなどを会場に行われました。28日はあいにくの悪天候に見舞われましたが、最終日29日は天気に恵まれ最高の雰囲気。特に1日順延した花火大会は、ほどよい風が煙を流してくれる絶好のコンディションで、港に詰めかけた人たちは、次々と夜空を焦がす大輪に

歓声を上げました。まつり期間中、特設ステージでは子どもたちにも人気のアンパンマンショーや、紋別市出身のロカビリー歌手・尾形直人さんのステージが、また旧駅前通りや本町通りでは、よさこい踊りや樽みこし、音楽パレード、紋別青年会議所主催のストラックアウトゲームなどが繰り広げられ、いずれも会場を沸かせていました。

作や観光地見学などを楽しみました。

同クラブの紋別合宿は、平成16年に初めて行われ今回で4回目。今年は子どもたち46人と引率者あわせて59人が参加しました。

一行はサロマ湖畔からの日



の出や、沼の上の牧場で子牛たちをモデルに絵画制作に励んだほか、3日目の夜には氷

海展望塔オホソクタワーで一夜を過ごし、夜の海底階で魚たちの生態を観察したり、星空を眺めたりと、東京ではできない体験をしました。4日目の夕方には港まつりにも飛入り参加し「千の風になつて」を合唱しました。

引率責任者の池田敬介教諭は「子どもたちにチャンスの場を作るのが教育。紋別には海と山が一体になった本物の自然がある。子どもたちには、この大地を見て何かを感じ、感動してもらいたい」と紋別合宿の意義を語りました。



## オホーツク 食材レシピ



### 【鮭のマリネ】

〈材料〉4人分		
生鮭	200g程度	
こしょう	少々	
小麦粉	大さじ2	A
揚げ油	適量	
酢	大さじ3	B
白ワイン	大さじ1.5	
塩	小さじ1/3	
長ねぎ	1/3本	
人参	15g	
玉ねぎ	120g	
赤・黄ピーマン	各1/2	
酢	150cc	
砂糖	小さじ1/2	
白ワイン	50cc	
赤唐辛子	1本	
※1人分	134kcal	

### 《作り方》

- ◎鮭は3cmくらいの適当な大きさに切りこしょうをふり、小麦粉をまぶして揚げ、熱いうちにAに漬ける。
- ◎長ねぎは2cmくらいのぶつ切りにし、オーブントースターで焼く。
- ◎ピーマンは、1cm幅に切る。人参は、細い千切りとする。玉ねぎは、半分にして、繊維を横にスライスする。これをBで食べる。
- ◎鮭の上に野菜をきれいに盛りつける。

図 紋別保健所健康推進課  
☎(23)3108番



紋別の夏を締めくくるイベント、第53回もんべつ観光盆踊り大会が8月16日から19日まで4日間、旧駅前通りで開催されました。穏やかな天候に恵まれた最終日は人出も多く、

### 「連獅子」が団体優勝 観光盆踊り大会賑わう



主催した同まつり実行委員会によると、子ども部に参加した子どもだけで500人を大きく超えました。大人の部は、仮装を含めた団体部門、個人素踊り部門、個人仮装部門に分かれての表彰があるため、毎年工夫を凝らした衣装や踊りが登場し、市民を楽しませていきます。最も注目を集める団体部門では、「連獅子」の派手な姿で参加した紋別婦人防火クラブが昨年に続き1位に輝きました。個人素踊り部門では、叶五三六さんが連獅子。個人仮装部門では、花笠と着物で美しく踊った大滝千恵子さんが1位にな

りました。主催者発表によると4日間の延べ参加者数は約3千人。最終日はやぐらを囲む輪が3

### 無限の可能性を秘めて 五輪メダリストが指導



バルセロナオリンピックの女子バレーボールで、アメリカ代表チームのセッターとして出場し、銅メダルを獲得した日系選手、ヨココ・ゼッタランドさん(38)を招いたバレーボール教室と講演会が8月17日・18日に市内で開催されました。2回に分けて行われた教室には、遠紋地区の小中学生から高校生まで計200人ほどが参加し、基礎練習や筋力アップなどのメニューに、楽しみながら取り組みました。ヨココさんは現在、スポー

テ4重にもなるほどで、水産加工会社などで働いている中国人研修生も大勢参加しイベントに花を添えていました。ツォメンテーターとして活躍しています。教室の内容は、参加した子どもたちが普段から実践しているメニューに近いものでしたが、五輪メダリストの言葉には重みがあり、子どもたちは、世界最高峰に到達するため、また到達してからも基礎練習が大切なことを学びました。



たちは、時折大きくうなずきながら、一つ一つの言葉に聞き入っていました。